

# 治療への活用めざす

◇ 愛知・瀬戸市 ◇

## 党県議団 さい帯血バンクを視察

公明党愛知県議団  
(渡会克明団長)はこ  
のほど、同県瀬戸市に  
ある日本赤十字社の愛  
知県赤十字血液センタ



中部さい帯血バンクを視察する党愛知県議団(右から6人)

「内にある「中部さい  
帯血バンク」を視察し、  
関係者らと意見交換を  
行った。

同バンクでは、母親

と赤ちゃんを結ぶ「さい  
い帯(へその緒)」と  
母親の胎盤の中に含ま  
れる「さい帯血(血液)」  
の保存・提供を行って

いる。さい帯血には、  
骨髄と同様の血液細胞  
を作り出す「造血幹細  
胞」が含まれ、これに  
より、白血病などの血  
液の難病に有効な造血  
幹細胞移植が可能とな  
る。

さらに、さい帯血か  
らはiPS細胞(人工  
多能性幹細胞)を作る  
ことができるため、白  
血病だけでなく、骨髄  
損傷や心疾患などの病  
気にも使える可能性も  
あり、期待が高まって  
いる。

同バンクは同県にあ  
る8カ所の病院から、  
さい帯血の提供を受け  
ているが、関係者によ  
ると、「成人患者への  
移植件数の増加などか

ら、さい帯血が足り  
ていない」のが現状  
だ。

同県議団の一行は、  
こうした説明を受けた  
後、さい帯血が保存さ

れている施設を見て回  
った。

渡会団長らは「さい  
帯血を採取できる病院  
の確保に全力を尽く  
す」と語っていた。